

学校教育 目標	個性と創造性に富み、心身ともにたくましい子どもの育成 自立×自律→協働的な問題解決力を伸ばす
育成を目指す 資質・能力	学ぶことのおもしろさを感じ、学ぼうとする意欲を育てる授業づくりを通して、確かな学力の定着、向上を図る

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・国語、算数、理科、すべての項目で全国平均を上回っていた。 ・国語では、説明文の読み取り及び伝えたいことを明確にして記述する問題が苦手である。 ・理科では、「物質・エネルギー」の分野が苦手である。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○課題を的確につかみ、自分の考えを表現する力の育成 ・学習問題の把握や問題に対して自分の考えを分かりやすく表現しようとするのに時間がかかっている。 ・学習で得た知識が日常生活と結びついていないため定着が十分でない。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・毎時間の授業にUD・ICTをデザインし、「自分の考えを友達に伝えた」とする児童の割合は84%であった。 ・低学力層(正答率60%未満)の児童の割合は、目標設定は6%以下であるが、8%であった。 ・個に応じた家庭学習を工夫し、家庭と連携して課題提出率を90%とする目標設定に対して92%であった。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・落ち着いた学習ができるように、年度初めに学習規律、板書とノートの基本の型を学校で統一 ・継続した取組として、週初めに「学習道具調べ」を行う ・計画的に行う証授業を通して、「分かりやすい板書」や「ユニバーサルデザインの授業」についても学び、確かな学力の定着・向上に繋ぐ 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・家庭学習の手引きを新1年生の家庭へ配布(2年生以上は昨年度配布済み)し、学級懇談で説明	

学力に関する達成指標

授業が分かる・楽しいと感じる児童90%以上

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の 具体的 な取組	〈授業改善のテーマ・重点〉 学ぶことのおもしろさを感じ、学ぼうとする意欲を育てる授業づくりを通して、確かな学力の定着、向上を図る	
	〈取組内容〉 毎時間の授業にUD、ICT機器をデザインし、基礎・基本が身に付く授業を行う	〈家庭・地域の取組内容〉 ・教育目標や経営方針、教育活動について理解をする ・学校と連携・協働して、教育活動の推進に努力する
	〈取組指標〉 ・児童の思考の流れに沿った「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を板書に位置付けるとともに、ICT機器を効果的に活用する ・主体的に取り組める明確な課題設定を1単元で5割以上行う	〈家庭・地域の取組指標〉 ・学校新聞や学年通信等を読んだり、オープンスクールや授業参観で児童の様子を見たりして、児童の学校での様子を把握するとともに、学級懇談・学校運営協議会等で意見を言う ・児童の家庭学習の状況を把握する
	〈検証指標〉 ・児童アンケート「授業が楽しい」と感じる児童を90%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 家庭学習の状況の把握、課題提出率90%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○教室掲示の厳選と充実 ○フレンドリータイムを月1回実施 ○道徳授業の充実による安心して学べる学級づくり ○ドリルを複数回取り扱う ○ICT機器を活用した家庭学習 ○「家庭学習の手引き」(明野中学校区 小中一貫)を活用し、4校揃った指導を行う	